取扱説明書

# HistoCore Arcadia C

## コールドプレート

HistoCore Arcadia C V 1.2、日本語 06/2015
**注文番号：** 14 0393 85108 Rev. C

必ず装置の近くに保管してください。
装置のご使用前によくお読みください。

本マニュアルに記載された情報、数値データ、注意事項、および数値の評価は、当該科学技術分野における最新の研究に基づく科学知識と技術レベルを反映しています。
弊社は、当該技術分野における最新の発展にもとづき、本書の内容を変更する権利を留保するとともに、新しい変更内容について定期的および継続的にユーザーに通知、コピー頒布等を行う義務を負いません。
万一、本マニュアルの内容に誤った記載や図面、説明図などが含まれていたとしても、個々のケースに該当する国内法規で認められている範囲内であれば、免責とさせていただきます。また、本書に記載の説明もしくは情報に従ったことに起因して万一経済的、物的損害が生ずる事態となったとしても、弊社はその責を負いません。
本マニュアルに記載の内容または技術詳細に関する説明、図面、説明図、およびその他の情報は、本製品の機能を保証するものではありません。
保証は、専ら弊社と顧客の間で合意された契約内容によって規定されるものとします。
弊社は、技術仕様および生産プロセスを予告なく変更する権利を有します。この権利を有することにより、ライカは製品の開発・製造に関する継続的な改良を実施することが可能になります。
本書は著作権法によって保護されています。本書のすべての著作権は、Leica Biosystems Nussloch GmbH に帰属します。
本書に含まれる文章、図を含むあらゆる構成部分を印刷、コピー、マイクロフィルム、Web Cam 等を含む方法により、またいかなる電子的システムやメディアを使用する手段によっても、Leica Biosystems Nussloch GmbH の事前の書面による許可なしに複製を作成することを禁じます。
製品のシリアル番号ならびに製造日付については、製品に付いている銘板をご覧ください。

© Leica Biosystems Nussloch GmbH

Leica Biosystems Nussloch GmbH
Heidelberger Str. 17 - 19
D-69226 Nussloch
Germany
Tel: +49 (0)6224 143-0
Fax : +49 (0)6224 143-268
Internet: http://www.LeicaBiosystems.com
Leica Microsystems Ltd. Shanghai 製造元

# 目次


**1. 重要な情報 ..... 3**
- 1.1 名称についての取り決め ..... 3
- 1.2 本書で使用している記号とその意味 ..... 3
- 1.3 装置の型式 ..... 6
- 1.4 本装置の用途 ..... 6
- 1.5 オペレーターの資格 ..... 6

**2. 安全にお使いいただくために ..... 7**
- 2.1 安全上の注意事項 ..... 7
- 2.2 警告 ..... 8

**3. 装置のコンポーネントと仕様 ..... 10**
- 3.1 装置のコンポーネントに関する概要 ..... 10
- 3.2 装置の主要な特徴 ..... 10
- 3.3 テクニカルデータ ..... 11

**4. 装置のセットアップ ..... 13**
- 4.1 設置場所の条件 ..... 13
- 4.2 標準付属品 - 梱包リスト ..... 13
- 4.3 開梱と設置 ..... 14
- 4.4 装置の移動 ..... 15
- 4.5 電源 ..... 16

**5. 操作方法 ..... 17**
- 5.1 装置の電源を入れる ..... 17
- 5.2 二次ヒューズの交換 ..... 17

**6. メンテナンスとクリーニング ..... 18**
- 6.1 装置のクリーニング ..... 18
- 6.2 メンテナンス作業に関する指示事項 ..... 18

**7. トラブルシューティング ..... 19**

**8. 保証とサービス ..... 20**

**9. 汚染除去証明（見本） ..... 21**

## 1.1 名称についての取り決め

**本装置の正式名称は「HistoCore Arcadia C コールドプレート」ですが、取扱説明書では読みやすいように「HistoCore Arcadia C」と呼ぶことにします。**

## 1.2 本書で使用している記号とその意味

**警告**
**三角警告マーク ⚠ が付いた灰色のボックスには警告内容が説明されています。**

**注意事項**
**インフォメーション記号 i が付いた灰色のボックスにはユーザーにとって重要な情報が説明されています。**

**(5)**
**(図 5)**
カッコ内の数字は、図中の位置番号または図の番号を表します。

注意 : 注意を要する情報につき、取扱説明書を参照してください。

電源オン。

電源オフ。

取扱説明書の指示を守ること

製造元

製造日

交流電流の記号

PE 端子

注文番号

## 1.2 本書で使用している記号とその意味

シリアル番号

中国版 RoHS（電気・電子機器に含まれる汚染物質の使用制限に関する指令）の環境保護マーク。マーク内の数字は製品の「環境適合使用期間」を示します。このマークは中国で規制されている物質を最大許容量以上に含む場合に使用されます。

ドイツ電気・電子製品法（ElektroG）の第 7 項による電気・電子製品への表示。ElektroG は電気･電子製品の流通、リサイクル、環境的に安全な処分に関する法律です。

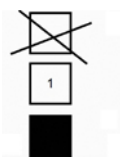
本製品は EU 指令の要件を満たしています。

本製品は CAN/CSA-C22.2 No. 61010 の要件を満たしています。

梱包の中身は壊れやすいため、取り扱いには十分注意してください。

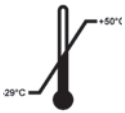
梱包は、乾燥した環境で保管してください。

梱包を正しく垂直に立てた状態を示します。

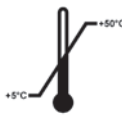



最大 2 スタック層が許容されます。

## 1.2 本書で使用している記号とその意味（続き）




梱包の保管と取り扱いで許容される温度範囲を示しています。
最低 -29 °C
最高 +50 °C




梱包の保管で許容される温度範囲を示しています。
最低 +5 °C
最高 +50 °C

梱包の保管と取り扱いで許容される湿度範囲を示しています。
相対湿度 : 最低 10 %
相対湿度 : 最高 85 %

横積み・転倒（Tip-n-Tell）インジケーターが、お客様の要件に従って積荷が立てた状態で搬送および保管されているかどうかを監視します。60° 以上で、青いケイ砂が矢形のインジケーターウィンドウに流れ込んでそこにとどまります。積荷の不正な取り扱いがあった場合、即座に検出され、確実に証明することができます。

ショックウォッチシステムでは、精密ガラス管の赤変によって、指定された強度を上回る衝撃または衝突を示します。定義された加速度（g 値）を上回ると、ガラス管内部の液体の表面張力が破壊されます。これにより、インジケーター管の色が変化します。

リサイクル可能なアイテムであることを示しています（適切な施設が存在する場合）。

## 1.3 装置の型式

本取扱説明書に記載の内容は、表紙に明記された装置型式にのみ適用されます。

銘板は装置裏面に取り付けられており、シリアル番号のラベルは装置側面にあります。

**図 1 は本装置の銘板の一例です。銘板には、装置の型式および電源要件に関する必要情報が記されています。各種バージョンに関する詳細データについては、3.3章の「テクニカルデータ」を参照してください。**

**図.1**

## 1.4 本装置の用途

HistoCore Arcadia C は、パラフィンブロック内の組織試料の冷却およびブロックの取り外しを行うためのコールドプレートです。

**上記の条件を満たす以外の使用はすべて装置の不正な使用と見なされます。**

## 1.5 オペレーターの資格

- HistoCore Arcadia C は、訓練を受けた検査室オペレーターだけが操作してください。
- 本装置の操作を担当するすべての検査室オペレーターは、本装置で作業を開始する前に本書をよく読み、すべての技術的な面に精通しておく必要があります。

## 2.1 安全上の注意事項

**この章の安全上の注意事項を常に守ってください。**
**本装置以外のライカ製品を操作した経験のある方も、必ず安全上の注意事項をよくお読みください。**

本書には、装置の操作上の安全と保守に関する重要な指示と情報が含まれています。

取扱説明書は製品の重要な一部を構成するものです。装置をセットアップしてご使用になる前に本書をよくお読みになり、必ず装置の近くに保管してください。

本装置は、計測、制御のため、ならびに実験室で使用するための電気装置に関する安全要件に準拠して製造、試験されています。

装置におけるこの状態を維持し、危険のない操作を行うために、ユーザーは必ず本書に記載されているすべての注意事項および警告を遵守してください。

**本装置を使用する国/地域で事故防止ならびに環境保全に関する追加要件がある場合は、本書の記載内容を該当する法律/ 規制の指示で補完することにより、当該国/地域の課する要件に適合させてください。**

**装置およびアクセサリに装備された保護装置を取り外したり、改造したりしないでください。ライカが認定したサービス技術者以外は、装置内部部品に触れたり、修理を行ったりしないでください。**

**必ず付属の電源ケーブルを使用してください。この電源ケーブルを他の電源ケーブルと交換しないでください。電源プラグがご使用場所のコンセントに合わない場合は、ライカマイクロシステムズにご連絡ください。**

**残存リスク**
**本装置は最新の技術を用い、安全技術に関する広く認められている規格および規制に準拠して設計、構成されています。本装置の操作または取り扱いが正しく行われないと、ユーザーまたはオペレーターが負傷の危険にさらされたり、装置またはその他の所有物が損傷することがあります。装置は、その安全機能がすべて適切な状態にある場合に限り本来の用途でのみ使用することができます。安全を損なう機能障害が発生した場合は、直ちに対策を講じてください。**

**適用規格に関する最新の情報については、弊社ホームページに掲載されている EC 適合宣言書を参照してください。**
**http://www.LeicaBiosystems.com**

**本装置または試料の損傷を防止するために、ライカが認定したアクセサリのみを使用してください。**

## 2.2 警告

本装置に取り付けられている安全装置は、最小限度の事故防止対策にすぎません。本装置を安全に操作することに対する責任は、まず何よりも装置の所有者が負うものであり、加えて装置の操作、保守、修理を行う担当者が負うものです。

本装置を問題なくお使いいただくために、以下の指示と警告を必ず守ってください。

### 警告 – 装置自体に関する安全上の注意事項

- **本装置の操作は、訓練を受けた検査室オペレーターのみが行うものとします。本装置は、指定の用途にのみ使用し、本書の規定に従って操作してください。**
- **装置上に三角警告マーク付きの警告ラベルが付いている場合には、当該コンポーネントを操作または交換するときに、本書に記載された正しい操作方法に従う必要があることを示しています。これを守らないと、事故や怪我、装置/アクセサリの損傷が発生する恐れがあります。**

### 安全上の注意事項 – 運搬と据え付け

- **開梱後、装置は必ず直立状態で運搬してください。**
- **電源に接続する前に、設置場所の電圧が装置の銘板に記載されている電圧に対応しているか、確認してください。**
- **本装置は、必ず付属の電源ケーブルを使用して、アース付き電源コンセントに接続してください。延長ケーブルは使用しないでください。**
- **電源コンセントは装置の近くで容易に手が届くところになければなりません。**

- **冷却装置を起動させている間は、最低電圧（テクニカルデータを参照）を維持する必要があります。**
  **コンプレッサーには約 25 A の始動電流が必要です。装置が正常に作動するためには、仕様に適合する安定な電源が不可欠です。装置を据え付ける前に、電気設備がこれらの前提条件を満たしているかどうか確認してください。これを守らないと、装置の損傷の原因となります。**
- **サービス、修理、クリーニングを行う前に毎回、装置の電源を切り、電源プラグを抜いてください。**
- **定められた指示を守らないと、装置による保護機能が働かなくなることがあります。**

# 3. 装置のコンポーネントと仕様

## 3.1 装置のコンポーネントに関する概要

**装置の正面**

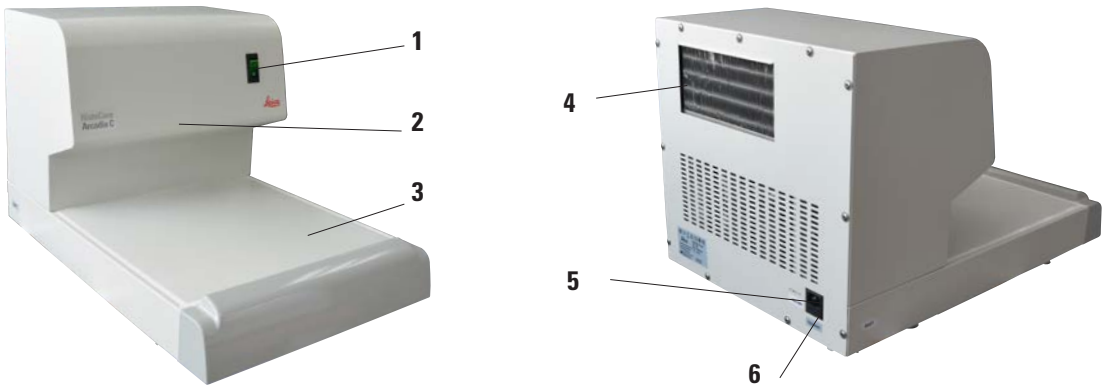



**図.2**

1. 電源スイッチ
2. 冷却システム（内部）
3. 冷却面
4. ヒートシンク
5. 電源入力用ポート
6. AC ヒューズ

## 3.2 装置の主要な特徴

- 本装置は、シンプルなモジュール設計と、精密に制御される冷却性能を備えたパワフルな冷却装置が特徴です。
- 環境適応型の制御モジュールが作動温度をつねに -6 °C に安定させます。
- 高い冷却性能により、装置の作動温度に迅速に到達します。
- コールドプレート内での温度分布の最適化により、ドリップ結露が防止されます。
- 余裕のある大きな冷却面に、約 60 個のブロックを収めることが可能です。
- HistoCore Arcadia H パラフィン包埋装置と組み合わせて使用できるように設計されています。

## 3.3 テクニカルデータ

### 一般仕様

電源電圧

| 装置の型式 | 電源電圧 | 注文番号 |
|---|---|---|
| HistoCore Arcadia C | 220-240 V AC 50/60Hz | 14 0393 53599 |
| | 110-120 V AC 50/60Hz | 14 0393 54092 |
| | 100 V AC 50/60Hz | 14 0393 54091 |

| | |
|---|---|
| ヒューズ | タイムラグヒューズ、5 x 20 mm、2xT5A、250V |
| 定格電流 | 最大 5 A |
| 最大始動電流（5 秒） | 25 A |
| 使用環境温度範囲 | +20 °C ～ +30 °C |
| 作動温度 | -6 °C |
| 環境相対湿度 | 20 ～ 80 % - 結露なきこと |
| 使用環境高度 | 2000 m 以下 |
| 許容温度範囲（保管時） | +5 °C ～ +50 °C |
| 許容温度範囲（搬送時） | -29 °C ～ +50 °C |
| 許容湿度範囲（保管・搬送時） | 10 ～ 85 % - 結露なきこと |
| 電磁環境 | 基本的な電磁環境 |
| IEC 61010 分類 | 保護クラス 1 |
| 汚染度 | 2 |
| IP 保護クラス（IEC 60529） | IP20 |

### 冷却装置

| | |
|---|---|
| 凍結能力* | 158 W（50Hz 時）、185 W（60Hz 時） |
| 安全係数 | 3 |
| 冷媒 | R 134a |

## 3.3 テクニカルデータ（続き）

| | |
|---|---|
| コンプレッサーオイル | 150 +10/-5 ml Ester RL7H、ISO 7 |
| * ASHRAE に準拠（凝縮温度 : 54.4 °C、蒸発温度 : -23.3 °C） | |
| **冷却剤** | 115 g ± 2 g |
| **寸法および重量** | |
| 幅 : | 400 mm |
| 奥行き : | 605 mm |
| 高さ : | 385 mm |
| 重量 : | 30 kg |

## 4.1 設置場所の条件

- 安定した、振動のない実験用テーブル。テーブル板が平坦であること。実質的に防振床であること。
- 直射日光が当たらないこと。また、大きな温度変化がないこと。室温は常に +20 °C ～ +30 °C の範囲内であること。
- 相対湿度は 80 % 以下とし、結露のないこと。
- 空気循環が影響を受けないような場所に装置を据え付けること。
- 装置を電源から簡単に切り離せる場所に装置を据え付けること。電源ケーブルは簡単に手が届く場所に取り回すこと。

**室温が +30 °C を超える場合、コールドプレートの -6 °C という作動温度は全箇所では到達できない可能性があります。**

**正常に動作するよう、また電源ケーブルを装置から簡単に切り離せるよう、装置の背後には 15 cm 以上の隙間を確保する必要があります。この距離を守らないと、冷却装置に重大な損傷が生じることがあります。危険な場所で装置を操作してはなりません。**

## 4.2 標準付属品 - 梱包リスト

| 数量 | 名称 | 注文番号 |
|---|---|---|
| 1 | 基本ユニット HistoCore Arcadia C | |
| | 220-240 VAC | 14 0393 53599 |
| | 220-240 V AC、中国 | 14 0393 54102 |
| | 110-120 V AC | 14 0393 54092 |
| | 100 V AC | 14 0393 54091 |
| 1 | 電源ケーブル | 16 ページを参照 |
| 4 | スペアヒューズセット、250 V 5A | 14 6000 05015 |
| 1 | 取扱説明書 | 14 0393 85108 |

**梱包リストと注文書を照らし合わせ、納入品に間違いがないか確認してください。万一相違がある場合には、すぐにライカ マイクロシステムズにご連絡ください。**

## 4.3 開梱と設置

**本装置が納入されたら、梱包に取り付けられている傾きインジケーターを確認してください。**
**矢印の頭部が青の場合、搬送中に積荷が横積みされたか、大きく傾けられたか、または倒れた可能性があります。**
**積荷書類にその旨記載し、積荷が損傷を受けていないか点検してください。**

図 .3

図 .4

**以下の開梱手順は、箱を記号 が上になるように置いてから行います。**

1. 梱包用ストラップ（**1**）と接着テープ（**2**）を取り外します。
2. 梱包を開きます。持ち上げて枠箱（**3**）を取り外します。
3. フォームパッド（**4**）を 1 つずつ取り外します。

**HistoCore Arcadia C は、必ず直立させて水平な状態で搬送してください。たとえ短時間でも、どのような状況下であっても、決して逆さにしたり、横に倒して保管したりしないでください。**

**装置の搬送後、電源を入れるまでに 4 時間の待機時間が必要です。コンプレッサー内のオイルが本来の位置に戻るまでに、これだけの時間が必要です。**

## 4.3 開梱と設置（続き）

図.5

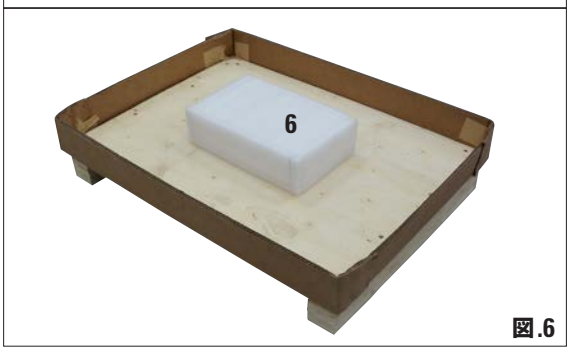



図.6

4. 装置（**5**）をパレットから取り出すときは、必ず 2 人がかりでハウジングベースの四隅を下から持ち上げてください（**図 5**）。
5. 装置を安定した検査室テーブルの上に置きます。
6. パレットの底部にあるアクセサリボックス（**6**）からアクセサリを取り出します。

**梱包材は保証期間中、保管しておいてください。**
**装置を返送する際、上記の逆の手順で梱包してください。**

## 4.4 装置の移動

**作動中は装置を動かさないでください。**
**装置を移動する前に、コールドプレート上に試料ブロックがないこと、装置が周囲温度になっていること、および電源ケーブルを電源から抜いていることを確認してください。**
**後部パネルのコンプレッサー排気口（1）の金属部分には手を触れないでください。**
**装置の電源を入れるまでに 4 時間の待機時間が必要です。**

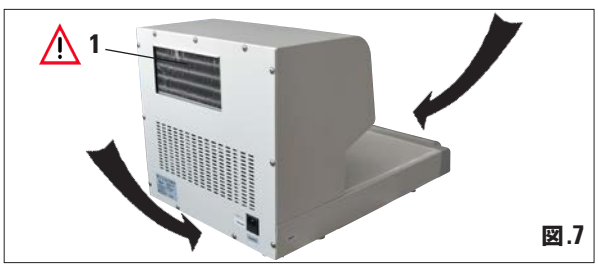



図.7

装置を移動するときは、ハウジングベース下側の前部と後部を持ちます。

## 4.5 電源

HistoCore Arcadia C 冷却装置には、特定の電圧と周波数が必要です（**「テクニカルデータ」 の章**を参照）。そのため、装置に適した電源ケーブルを使用する必要があります。

以下の注意事項を守り、装置が損傷しないように注意してください。

**電源に接続する前に、設置場所の実際の電圧が装置の銘板（背面）に記載されている電圧に対応しているか、確認してください。**
**対応していない場合は、電源ケーブルを差し込まないでください。**
**本装置は、必ず付属の電源ケーブルを使用して、アース付き電源コンセントに接続してください。**
**延長ケーブルは使用しないでください。**

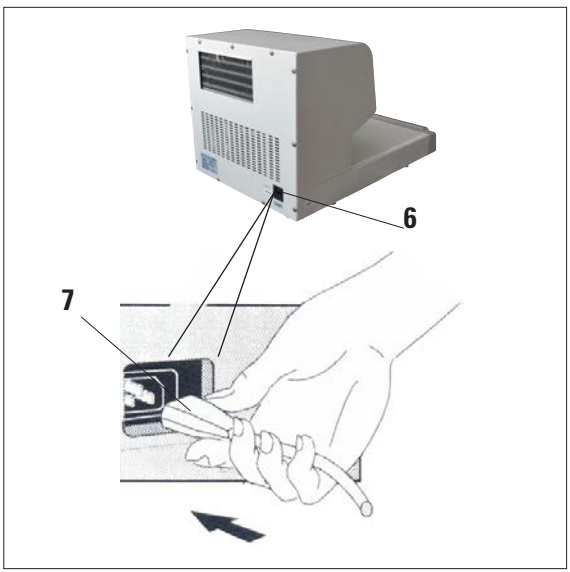



**図 .8**

- 電源ケーブルのプラグ（**7**）を接続ポート（**6**）に差し込みます。
- 壁コンセントに電源ケーブルを差し込みます。

ご使用になる地域に応じて、以下の電源ケーブルのいずれかが供給されます。

| 名称 | 注文番号 |
|---|---|
| 米国 | 14 6000 05024 |
| 日本 | 14 6000 05025 |
| ブラジル | 14 6000 05026 |
| 欧州 | 14 6000 05027 |
| 中国 | 14 6000 05028 |
| オーストラリア | 14 6000 05029 |
| 英国 | 14 6000 05030 |
| スイス | 14 6000 05066 |
| イタリア | 14 6000 05067 |
| デンマーク | 14 6000 05068 |
| アルゼンチン | 14 6000 05070 |

## 5.1 装置の電源を入れる

図.9

**4 章**に記載されている設置手順を完了すると、HistoCore Arcadia C は使用可能になります。装置前面の左側にある電源スイッチにより、装置の電源を入れます（「I」= ON）。スイッチ内のランプが点灯し、装置が操作可能であること、および冷却装置が作動を開始することを知らせます。

室温によって異なりますが、冷却面が設定温度（-6 °C）に達するまでには約 25 分かかります。

**冷却時間が十分経過するまでは、冷却面にモールドを置いてはなりません。そうしないと、作動温度（ -6°C）に達しない可能性があります。**

**コンプレッサーは電源をオンにしてから 5 分後に作動し始めます。**

## 5.2 二次ヒューズの交換

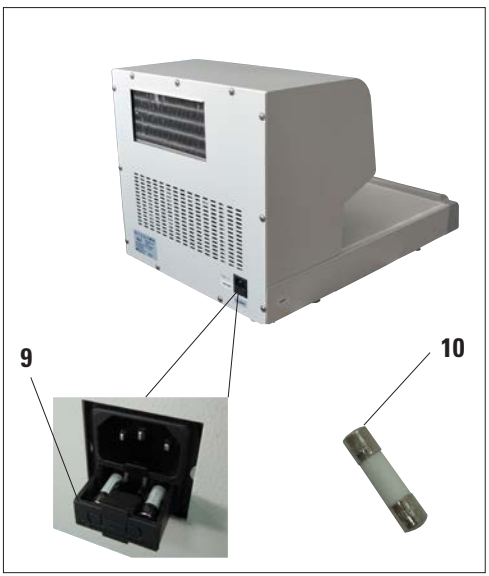



図.10

電子部品を保護するための小型ヒューズは、装置背面に設置されています。
ヒューズ定格：5A、250 V

**ヒューズを交換する場合は、必ず事前に装置の電源を切り、壁コンセントから電源プラグを抜いてください。**
**必ず「テクニカルデータ」の章で指定されているタイプの小型ヒューズを使用してください。**

ヒューズの交換は次の手順で行います。

1. ドライバーを使ってヒューズホルダー（**9**）を開き、ヒューズ（**10**）を取り外します。
2. 同タイプの 2 つの新品ヒューズに交換します。
3. ドライバーを使ってヒューズホルダーを元の位置に押し戻します。
4. 装置を電源に接続し、オンにします。

# 6. メンテナンスとクリーニング

## 6.1 装置のクリーニング

**クリーニングを行う前に毎回、装置の電源を切り、電源プラグを抜いてください。**
**洗剤を使用する場合には、製品に表示された安全上の注意を守るとともに、使用する国における有効な検査室安全規定に従ってください。**
**クリーニング時には、装置の内部に液体が入らないように注意してください。**
**装置表面に傷が付くのを防ぐため、縁が鋭利な金属製品は絶対に使用しないでください。**

**作業面**

- 作業エリアを清掃する際には、パラフィン除去に適した、あらゆる一般的なラボ用洗浄剤（例：ポリガードやキシレン代替溶剤）を使用することができます。
- コールドプレート上の結露水を拭き取るには、糸くずの出ない乾いたティッシュペーパーを使用してください。

**装置と外面**

- 必要に応じて、市販の家庭用中性洗剤または石鹸水で装置外面の塗装面を清掃し、湿らせた布で拭き取ります。
- 装置表面に有機溶剤が長時間付着したままにしないでください。塗装面にキシレン、アセトン、またはアルコールを使用しないでください。

## 6.2 メンテナンス作業に関する指示事項

**本装置を開いてメンテナンスや修理作業を行うことが認められているのは、ライカ認定のサービス技術者のみです。**

**装置が長期にわたり高い信頼性とともに作動し続けるよう、以下の点を順守してください。**

- 使用後は毎回、装置を入念に清掃してください。
- ブラシまたはバキュームクリーナーを使用して、装置背面の換気スロットからほこりを定期的に取り除いてください。
- 保証期間の終了時にサービス保守契約を結んでください。詳細についてはライカ マイクロシステムズにお問い合わせください。

**以下の表を使用しても不具合を解決できない場合には、ライカ マイクロシステムズにお問い合わせください。**

| 不具合の状態 | 考えられる原因 | 解決法 |
|---|---|---|
| コールドプレートが設定温度まで冷却されず、ビープ音が 2 回鳴る。 | 換気装置への空気の供給が不十分。<br>または<br>コールドプレートの機能障害。 | 1. 装置と壁面との間に十分なスペースが確保されていることを確認してください。15 cm 以上の間隔を取る必要があります。<br>2. 約 5 分間待ってから、装置を再起動します。<br>3. 不具合が続く場合は、ライカ マイクロシステムズにお問い合わせください。 |
| コールドプレートが設定温度まで冷却されない。ただし、ビープ音は鳴らない。 | 周囲温度が高すぎる。<br>または<br>コールドプレート面で結露した水 / 氷 / 霜が多すぎる。 | 1. 室温が 20 ～ 30 °C であることを確認してください。<br>2. 装置と壁面との間に十分なスペースが確保されていることを確認してください。15 cm 以上の間隔を取る必要があります。<br>3. コールドプレートを清掃し、装置を再起動します。<br>4. 不具合が続く場合は、ライカ マイクロシステムズにお問い合わせください。 |
| コールドプレートの温度が低すぎ、ビープ音が鳴り続ける（パラフィンブロックが割れる可能性がある）。 | コールドプレートの機能障害。 | 1. 装置を再起動します。<br>2. 不具合が続く場合は、ライカ マイクロシステムズにお問い合わせください。 |

## 8. 保証とサービス

### 保証

Leica Biosystems Nussloch GmbH は、契約に基づき納入した製品について、ライカ マイクロシステムズ社内検査基準に基づく総合的な品質管理を実施し、納入した製品に欠陥がなく、契約に定めるすべての技術仕様を満たし、および/または取り決めた特性を達成していることを保証します。

製品の保証条件につきましては締結された個々の契約の内容に依存し、本契約製品を購入されたライカ マイクロシステムズ販売店またはその他の組織にのみ適用されます。

### サービス情報

テクニカルサービスまたは部品交換の必要が生じたときは、当該製品の販売を担当したお取引ディーラーまたはライカマイクロシステムズ販売店へご連絡ください。

その際、以下の情報をお知らせください。

- 装置の型式名とシリアル番号
- 装置の設置場所と担当者名
- サービス要請の理由
- 納入日

### 使用中止と廃棄

本装置または装置の部品は、それぞれの国/地域で適用される法規に従って廃棄処分してください。

お客様各位

ライカ バイオシステムズやオンサイトサービスへご送付いただくすべての修理品につきましては、事前に適切な方法で清掃および汚染の除去を行ってください。ライカは、クロイツフェルトヤコブ病のプリオンおよびその変異型に関する汚染除去が不可能であることを認識し、この場合には以下の現行のユーザー安全性ガイドラインが適用されます。クロイツフェルトヤコブ病の試料にさらされた装置を修理のためにライカ バイオシステムズに返送することはできません。プリオン汚染された装置の修理は、サービスエンジニアがその潜在的危険性について教育を受け、関係当局の指針および手順に精通し、個人防護具を着用した場合に限り、実施されます。送付の際にはこの汚染除去証明書に必要事項を記入し、コピーを装置に添付してください。証明書を梱包の外側に添付するか、サービスエンジニアに直接手渡してください。弊社またはサービスエンジニアが汚染除去証明書を受け取るまでは、返送された梱包を開梱せず、修理作業にも着手いたしません。もし送付された修理品が弊社により危険と判断された場合は、お客様にそのまま品物を直ちに返却いたします。このときの送料はお客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。**ご注意：**ミクロトームのナイフは専用のナイフケースに入れて梱包してください。

**必要記入事項：** * の付いた欄は必須項目です。装置の汚染の有無に応じて、A の項目、または B の項目にご記入ください。

**銘板情報**

**型式（銘板を参照）***

**シリアル番号（銘板を参照）***

**注文番号（銘板を参照）***

**A の項目が該当する場合は、チェックマークを入れてください。該当しない場合は、B のすべての項目にお答えください。必要な場合や該当する場合はさらに詳しい情報を記入してください。**

## A

| はい | |
|---|---|
| ☐ | この装置が未固定の生検材料と触れたことはありません。 |

## B

**1** この装置の内部または外部が、以下に示す危険物質に触れたことがあります。

| はい | いいえ | | ここに詳しくお書きください。 |
|---|---|---|---|
| ☐ | ☐ | 血液、体液、病理学試料 | |
| ☐ | ☐ | その他の生物学的な有害物質 | |
| ☐ | ☐ | 化学薬品/ 健康に有害な物質 | |
| ☐ | ☐ | 放射性物質 | |
| ☐ | ☐ | 上記以外の危険物質 | |

**2** この装置は清掃して汚染除去を行いました。

| はい | いいえ | | ここに詳しくお書きください。 |
|---|---|---|---|
| ☐ | ☐ | 「はい」の場合、実施した汚染除去の方法をお書きください。 | |
| | | 「いいえ」の場合**、その理由をお書きください。 | |

** 汚染除去を行っていない装置を、ライカ バイオシステムズの書面による同意なしで返送することはできません。

| はい | いいえ | |
|---|---|---|
| ☐ | ☐ | **3** 装置は安全な取り扱い/輸送のための準備がなされています。<br>可能ならば、オリジナルの輸送ケース / ボックスを使用してください。 |

# 9. 汚染除去証明（見本）

**重要 - 受取拒否を回避するために**
汚染除去証明書のコピーを梱包に添付するか、またはサービスエンジニアに手渡してください。弊社に送付された修理品に適切な汚染除去証明書が添付されていない場合には、ただちに返却されます。この場合、その一切の責任はお客様が負うものとします。
ご不明な点はお近くのライカ代理店へお問い合わせください。

ジョブシート番号：_____ SU 返却品承認（**RGA**）：_____ BU 返却承認番号（**RAN**）：_____

**署名 / 日付 ***

**氏名 ***

**役職 ***

**eMail**

**組織・団体**

**所属**

**住所**

**電話** **ファックス**

Leica Biosystems Nussloch GmbH
Heidelberger Str. 17-19
69226 Nussloch, Germany

電話：++49 (0) 6224 143 0
Fax: ++49 (0) 6224 143 268
www.LeicaBiosystems.com

www.LeicaBiosystems.com

Leica Biosystems Nussloch GmbH
Heidelberger Strasse 17-19
D- 69226 Nussloch
Tel.: +49 - (0) 62 24 - 143 0
Fax: +49 - (0) 62 24 - 143 268
Web: www.LeicaBiosystems.com